

平成29年度弘前市総合計画審議会担当課ヒアリング対象

No.	分野	政策	質問内容	委員	備考
1	ひとづくり	I 子育て	学校施設の活用や放課後子ども教室との連携により一体的な整備を図るということですが、具体的に駅前子どもの広場などの子育て支援センターとの関連はどうなりますか。	青山委員	
2	ひとづくり	II 子どもの学び	平成30年4月から小中一貫教育システムが導入され、中学校区における教育自立圏の取組が始まるが、コミュニティースクールについても、弘前市としてどのように取り組み、子どもたちはそれによってどうなっていくのか。また、高校や大学などの上級学校との関わりはどうか。	青山委員	8月23日(水) 18:00～ ひと・くらし 分科会
3	ひとづくり	III 多様な学び	都市環境と観光振興についての施策に関する原点に多様な学びがあると思います。直接関係ないように思われますが、多様な学びの学習内容では地域の文化や文化財、文化芸術を学ぶことによって弘前をもっと知ってもらうための政策が打ち出されています。都市環境ではその文化財に関する整備についての施策があり観光振興では、文化財、文化・芸術を資源として観光の施策があります。その連携について次期計画を立てる上でどのように取り組むのか聞いてみたい。	三上委員	
	まちづくり	II 都市環境			
	なりわいづくり	II 観光振興			
4	まちづくり	II 都市環境	行政側の連携について確認したいと思います。「2 魅力あふれる弘前づくりの推進」と「3 文化財の保存と整備」「1 観光資源の魅力の強化」の連携についてどのように進める考えなのか各担当課及び全体の考えを確認したい。魅力あふれる弘前づくりの推進では、文化財のほかにレンガ倉庫の整備、景観に関する施策が掲げられている。その文化財に関しては、別枠で保存と整備となっています。また、総合的な形で観光振興につなげるように進められていると思いますが、具体的連携が取れるのか取っていくのか直接聞いてみたいと思います。	三上委員	8月23日(水) 13:00～ まち・なりわい 分科会
	なりわいづくり	II 観光振興			
5	まちづくり	III 生活基盤	交通整理員事業が廃止され、「学校とPTA、地域が連携し、防犯等と含めた総合的な子どもの見守りを図っていく必要がある」となっています。具体的にはどのような見守り体制が検討されているのか確認したい。交通整理員は、子どもたちの顔を覚え、毎日子どもたちを継続的に観察し、変わったことがないかどうか様子を窺ってくれるなど、交通整理だけではなく役割を担ってきました。交通整理事業として考えるとPTAのボランティアだけでよいかもしれませんが、上記のような役割も担ってきたことを考えると、他の政策と連携し、ボランティアではない人材の配置が必要なのではないかと考えています。	森委員	

【分野別政策 まちづくり】

政策	政策の方向性	施策	評価表ページ	B: 審議会 意見・提言
I 雪対策	1 冬期間における快適な道路環境の形成	1) 快適な道路環境の維持	まち2	<p>■現状と課題</p> <p>■次期計画方向性</p> <p>①確かに、機械は何の前触れもなく突然機能しなくなることがあります。よって、どんなに最新鋭の機械を導入したとしても、官民の連携は不可欠です。ただ、よりよい環境維持のためには弘前市内での閉じた取り組みではなく、ほかの積雪寒冷地帯との連携も取りながら、互いに快適な生活・道路環境維持のために有している知恵や技術の共有を促進していくことも検討してはどうでしょうか。【高島委員】</p> <p>②地域住民が一体となって除雪に取り組むためには、どこに雪置き場や雪捨て可能な空き地が明記された町内マップの作成配布を町内会に依頼するなどして、どこに雪を捨てることができるのか視覚的にもわかるような支援があってもいいのではないかと。【高島委員】</p> <p>③融雪システムや消流雪溝整備などハードの整備が中心になっているので、ソフト面での対応も必要なのではないでしょうか。例えば、これまでは車社会を前提にした除排雪計画だったと思いますが、高齢化が進む社会においては歩行者、居住者のための除排雪計画も検討すべきだと思います。(歩行者や居住者目線での新しい除雪政策を考える。)(森委員)</p>
		2) 快適な道路環境の整備	まち6	
	2 地域一体となった新たな除雪体制の構築	1) 市民相互による細やかな除雪への支援	まち10	
		2) 身近な除雪環境の整備	まち14	
3 雪対策イノベーションの推進	1) 新たな雪対策の開発	まち18		

政策	政策の方向性	施策	評価表 ページ	B:審議会 意見・提言
Ⅱ 都市環境	1 快適な都市空間の形成	1)良好な市街地の形成	まち 23	<p>■現状と課題</p> <p>①-1「住みたい」と思ってもらうために、建物だけでなくその周辺環境や交通インフラとの関係性も検討して、総合的な生活環境の充実に努めるという視点も盛り込んだほうがいいのではないか。【高島委員】</p> <p>■次期計画方向性</p> <p>①-2住環境と生活環境は不可分であると考え。すなわち、いくら建物が立派でも交通インフラが十分でなければ、住みにくいままである。「古いけど住みやすい」と思っていたくためには、『良好な市街地の形成』『道路網の整備(生活基盤政策)』と関係づけながら施策を実施することも検討してはどうでしょうか。【高島委員】</p>
		2)快適な住環境の整備	まち 27	
		3)利活用による空き家・空き地の解消	まち 31	
		4)公園・緑地等の整備	まち 35	

政策	政策の方向性	施策	評価表 ページ	B:審議会 意見・提言
II 都市環境	2 魅力あふれる弘前づくりの推進	1) 景観・街並みの保全	まち 39	■現状と課題
		2) 拠点地域の整備	まち 43	
		3) 弘前公園周辺等の魅力向上	まち 47	
	3 文化財の保存と整備	1) 文化財の保存と管理	まち 51	
		2) 文化財の整備の推進	まち 55	

政策	政策の方向性	施策	評価表 ページ	B:審議会 意見・提言
Ⅲ 生活基盤	3 公共交通の 利便性の 向上	1)交通ネット ワークの形成	まち 84	■現状と課題
	4 安全・安心 な上下水道の 整備	1) 安心・快 適な給水の確 保	まち 88	
		2) 災害に強 い水道施設の 構築	まち 92	
		3) 下水道施 設の整備	まち 96	■次期計画方向性
		4) 下水道施 設の維持管 理	まち 100	
		5) 運営基盤 の強化	まち 104	

政策	政策の方向性	施策	評価表 ページ	B:審議会 意見・提言
IV エネルギー・環境	1 エネルギー政策の推進	1) 弘前型スマートシティ構想の推進によるエネルギーの自給率向上と効率的利用の推進	まち 109	<p>■現状と課題</p> <p>■次期計画方向性</p>
		2) 省エネルギーの推進	まち 113	
	2 自然環境の保全・活用	1) 環境保全活動の推進	まち 117	
	3 生活環境の維持	1) 良好な生活環境の確保	まち 121	
		2) ごみ減量・資源化の強化	まち 125	
全ての政策				<p>■現状と課題</p> <p>①-1全般に歳出に直接関係しているものは、「…負担になっている」「…不足している」との表現が多く、行政側が負担している部分が協調されているように感じられるので表現として連携を取る必要があるように示した方が良いと思います。印象的、行政に負担がきて大変だみたいに捉えられると思います。【三上委員】</p> <p>■次期計画方向性</p> <p>①-2次期方向性なので、「…実施する必要があります」「継続して実施する必要があります。」の表現が目立ちます。次期計画の方向性を示すのであれば、必要性はわかるのでどのように反映させ施策として検討するか記入していくことが必要と思います。【三上委員】</p>